

| 受験方式

TEAP利用型	教科	満点	英	国	日	世	政	数IA	数IIB	他	備考
神	2	350	150	100	(100)	(100)	-	-	-	-	2次：面接（1次合格者のみ）

学部学科試験・共通テスト併用型	教科	満点	共通テスト							独自試験			独自試験で求められる科目
			英	国	日	世	政	数IA	数IIB	独	他	試験内容	
神	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	-	-	100	面	総合問題 ^(※)	^(※) 現代文・世界史 [独試-他]2次面接(1次合格者のみ)

| 志願者推移（数値は集計日時点による）

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較（△:増加% ▼:減少%）

TEAP利用型	20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
神	10	41	8	32	▼2%	
学部学科試験・共通テスト併用型	20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
神	14	78	12	51	▼24%	

※学部学科試験・共通テスト併用型の20年度定員・志願者は、旧学科別の数値を代入。

| 入試問題分析

| 総合問題（独自試験）

入試問題分析	[キリスト教と聖書の基礎に関する理解力と思考力を問う試験]
	大問四題(マーク+意見論述)
	①：世界史(宗教史)の空欄補充問題／②：聖書・聖職者の発言の空欄補充問題／③：テーマ型論述問題(600字×2問)の3パターン。 世界史の知識に関する独立問題が新傾向。
	世界史(宗教史)的な観点も含めた、キリスト教関連の知識を幅広く増やす必要がある。①は古代キリスト教、中世のキリスト教史から出題。それなりの難度であり、世界史選択者以外が短期の対策で受験に臨むのはあまり現実的ではない。③の長文論述問題は難易度としては標準的で、小論文の基本的な書き方が身に付いていれば問題なし。ただかなり短時間での解答が求められる(制限時間75分)ため、①②を即答→③の時間を稼ぐ、といったタイムマネジメントも必要。

※TEAP利用型は全学部共通試験のため、別ページに入試問題分析を掲載。